

神楽通信

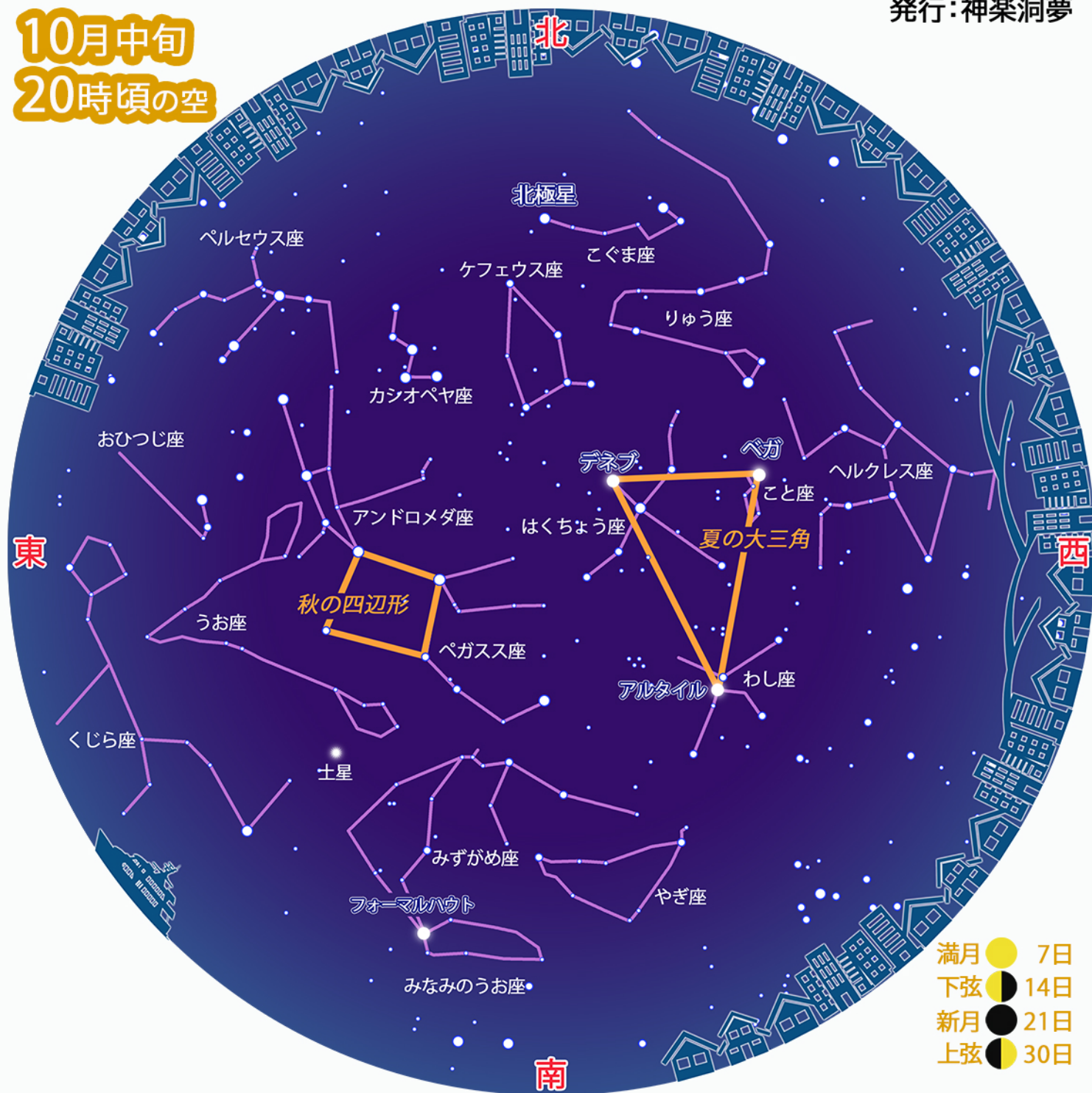
No.116

2025年

10月号

発行:神楽洞夢

10月中旬
20時頃の空



秋分の日を過ぎて、日暮れの早まりをより一層感じられるようになってきました。そんな宵の空を見上げると、6日には満月に近い「中秋の名月」を楽しむことができます。また、南の空には「秋のひとつ星」とも呼ばれる1等星のフォーマルハウトが、東よりには土星が見えています。どちらも似たような明るさですが、土星の方が瞬きが少なく感じます。明るい星の少ない秋の星空でともに目立つ存在です。

秋の星空は一大絵巻物！

春は大きな星座、夏は濃い天の川、冬は明るいカラフルな1等星たち、というように各季節の星空にはそれぞれの魅力があります。

今から見頃を迎える秋の星空には、ギリシャ神話に登場する古代エチオピア王国の物語が広がっています。

登場する星座は、ケフェウス座、カシオペヤ座、アンドロメダ座、くじら座、ペルセウス座、ペガサス座の6星座です。



秋の星空を飾る星座たち

物語は、ケフェウス王とカシオペヤ王妃が治める古代エチオピア王国から始まります。国王夫妻は娘のアンドロメダを大変可愛がっていましたが、カシオペヤが娘の美しさを海の神ポセイドンの娘たちよりも優れていると自慢したため、ポセイドンの怒りを買って、エチオピアの海岸にお化けくじらが差し向けられました。

国を救うため、アンドロメダは岩に鎖で繋がれ生贄にされましたが、英雄ペルセウスがペガサスに乗って現れ、怪物メドゥーサの首を使いお化けくじらを石に変えて、アンドロメダを無事救ったという話です。

物語に登場する“メドゥーサの首”を探そう！

物語に登場する“メドゥーサの首”にあたる星をペルセウス座に見つけることができます。

アルゴルという、^{へんこうせい}2.1等星から3.4等星まで明るさを周期的に変える「変光星」で、変更の周期は、およそ69時間です。

2～3日周期で明るさが変化する様子を見た古代ギリシャの人々はこの星に怪物メドゥーサの怪しさを思い描いたのかもしれません。



変光星アルゴルの位置



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
<http://kagura-dome.jp> TEL. 059-221-3121 FAX. 059-226-1565